



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU

WEEKLY REPORT No. 1082

名古屋大須ロータリークラブ



<本年度会長方針> 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

<2010-2011年度 R.I.テーマ>

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1277回例会

平成22年8月8日(日)
大須地域青少年多様性会議
於 名古屋中小企業福祉会館
出席計算数 会員 61名
51名中34名出席
出席率 66・67%
前々回出席率 94・44%

ゲスト

- CBD市民ネット・生命流域部会 長代行 大沼 淳一さん
- 土岐川・庄内川流域ネットワーク 一宮 久夫さん
- 愛知淑徳大学 荒木 咲子さん
- 地区幹事 石川 千尋さん
- 元米山記念奨学生 水野 吉昭さん
- 米山記念奨学生 徐 冬梅さん
- グエン・ダン・チンさん
- 元受入青少年交換学生 張 允暢さん
- 受入青少年交換学生 クリスティー・ティン
- 元派遣青少年交換学生 榊原 順さん

出席者

会員34名 ご家族16名
ゲスト12名 事務局2名

ニコボックス

社会奉仕の皆様、ありがとうございます。
柴岡 正将・出口 忍
岩崎 征一
杉本 英夫・田崎 雅三

会長挨拶

岩崎 征一



近藤宏一郎・前田 隆久
自然を大切にしましょう。
尾上 昇
2人の母(共に93才)の誕生日です。
横井 衛
今日は里山として生物多様性についてみなさんとじっくり考えてみましょう。 社会奉仕委員会一同

皆さん お早うございます。
夏休みの日曜日、色々な用事が有るのにかかわらず、これほど多くの人が朝早くからお集まり頂き本当に有り難うございます。
今日は「里山問題を考える」と言うテーマで、大須地域の青少年の皆さん方に「生物多様性」とは何かを考え理解していただくこと、私たちが名古屋大須ロータリークラブが主催で、大須商店街連盟の皆さん方の御協力を得て、生物多様性についての専門家の先生方や、ボランティアの皆様方の力添えをもってこのセミナーを運営致しました。大変分かりやすくお話し

里山問題を考える in 大須

社会奉仕委員会

ただけですし内容も興味のあるものなので、十分楽しんで勉強して頂いて、お帰りになれましたら、御家族やお友達ともお話をいただき、皆様で話題の種として頂ければ幸いです。短い時間ですが十分お楽しみ下さい。

地域支援担当 堀江 英弥
8月8日に地域住民・学生・ロータリーメンバーや家族約100名が参加し、名古屋中小企業福祉会館大会議室で「里山問題を考える in 大須」―大須地域青少年生物多様性会議―を開催しました。
セミナーは、照井さんの司会、岩崎会長挨拶に始まり、第一部はCBD市民ネットワーク生命流域作業部会長代理の大沼淳一氏の基調講演で、生物多様性条約の歴史的背景から里山のあり方・ホテルやカエル等を例に外来種や遺伝子問題まで映像を使いながら説明し、現在3000



基調講演「生物多様性について」

大沼 淳一さん



万種とも言われている生き物が今のままのスピードで減少して行くと毎年3〜4万種の生き物が絶滅していくなど生物多様性の必要性を熱心に講演いただきました。
第一部は大沼氏をコーディネーターに、土岐川・庄内川流域ネットワークの二宮久夫氏・愛知淑徳大学の荒木咲子さん・石川千尋さんがパネラーに加わり、一宮氏が水辺の大切さ楽しさを述べられ、荒木さんはミツバチ・石川さんはマグロとそれぞれの研究テーマから里山から川・海の繋がりの大切さのディスカッションが行われ、会場との質疑応答、最後にこれからも家族で・職場でも話し合いをしていただくことをお願いしてセミナーを閉会いたしました。

パネルディスカッション

「里山の大切さから」

川・海への繋がり」
コーディネーター 大沼淳一さん

愛知淑徳大学
石川 千尋さん愛知淑徳大学
荒木 咲子さん土岐川・庄内川流域
ネットワーク
二宮 久夫さん

8月26日(木)例会の案内

例会変更8月30日(月)

名古屋中 名古屋栄・名古屋大須

合同カバナー公式訪問

於 名古屋観光ホテル

3F「那古」の間

*カバナー、地区幹事

会長 幹事懇談会

11時30分~12時10分
3F「桃」の間

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久
近藤宏一郎・杉浦 令淑

Letter from

AUSTRALIA

9日にロータリー例会で初めてスピーチしました。ゲストに Mackay の市長、Mr. Mengさんをおよびして、名古屋の河村市長からの手紙をお渡ししました。手紙について名古屋についてスピーチしました。みなさん笑ってくださって、次のスピーチが楽しみっていただきました。「次のスピーチでは、もっと大きい声で」といわれました。自分では気づいてなかったけど、小さかったそうです…。

15日・16日は Whitsunday voice week で、小説家さん達がきて、お話をするというイベントでした。ほかの沢山の学校の生徒のきたので、すごく混雑していました。色とりどりの制服で、私は楽しかったです。私は4人の小説家さんのお話をききました。それぞれ童話・サスペンス・サイエンスの本を書いている人たちで、サイエンスの本を書いている人は実際に実験をみせてくれました。童話は私でも読めました！

17日に次のホストファミリーのお宅へ一緒に夕食を食べにきました。今のホストファミリーはサッカー家族ですが、次のホストファミリーはバスケットボール家族です。今のホストマザーは「私達はあなたにスポーツかみせてあげられないから、違う家族で違うものをみせてもらってね。」って言うのに、サッカーとバスケットでスポーツは違いますが、スポーツ家族でした。「あやか、ごめんなさい、また違うスポーツ家族に連れてきちゃった！」ってみんなであっていました。12歳の娘さんと9歳の息子さんがいます。ちょうど今のホストシスター達の間の年齢です。とても楽しい家族でした。今のホストファミリーを離れるのはさみしいですが、次のホストファミリーはとても面白い人たちなので楽しみです。

22日・23日は Mackey の姉妹都市の松浦(長崎県)から何人かみえていて、ツアーの同行させてもらいました。市長さんをはじめ30人ほどの人がきていました。そのほかにツアーに10名ほどの Australia の人も同行しました。皆さん30代、40代、50代の方たちでしたが、一緒にお話しさせていただきました。

21日の夜は Mackey の市長さんのお宅でパーティーでした。久しぶりに日本語を話しました！でも切り替わるのに時間がかかり、英語と日本語、ミックスで話していました。少ししたらなれてきて、日本語が話せるようになりました。

22日は朝集まって、バスでキルト・ゴルフ・砂糖館にそれぞれいきました。キルトは女性のかたがほとんど、ゴルフは男性がほとんどでした。私は砂糖館にいきました。市長さん達と一緒に

でした。着いてすぐ、モーニングティーがありました。そこのおすすめの飲み物は ginger beer で、ジンジャーエールのことです。アルコールは全く入っていないのですが、ちょっと飲んでみましたが、私には強すぎました。Sugar shed に関するビデオをみましたが、なんと日本語！でしたが、不思議な日本語で皆さん笑っていました。工場内にははいれなくて、工場のミニチュア版みたいな建物を見学しました。その場でサウキビを絞ってくれて、試食しましたが…確かに甘いですが、甘いんですけどものすごく青臭かったです。一通り見学して、その日は終わりました。

23日はヤングラに行きました。自然公園みたいところで、カモノハシがいます。ついにくままたモーニングティーで、どなたか梅干しをもってきてくださって、お米と海苔もあって、久しぶりにおにぎりを食べました。今カモノハシは繁殖期なのでもしかしたらカモノハシが見れるかもしれないといわれ、橋の上でカメラを構えました。なんと！できてくれました！ただ、すぐにもぐってしまい、写真はとれませんでした…。でも見られたのすごくうれしかったです。夜は船でクルーズパベキューでした。予定では海に出る予定でしたが、風が強く港の中だけになりました。24日に皆さん帰られたので、Mackey での最後の夜でした。

未成年は私だけで、ほかの人たちはアルコールを飲んでいました。船の中にカラオケみたいな装置があり、Australia の人達がいろんな曲を歌ってくださってたんですが…日本人の性なのか、皆さん踊り始めました。お酒をあんまり飲んでない人と私は笑ってみてるしかありませんでした…。盆踊りとディスコのダンスが混ざったような踊りで、Australia の方たちにはすごくうけていました。「一番若いんだから踊らなきゃ！」とひっぱられて、私も踊ることに…。不思議な夜でしたが(皆さんアルコールの飲みすぎです！)たのしかったです。私はアルコール飲んでいませんよ！

2日間いろんなところに同行させていただきました。通訳さんが3人ほどいて、英語は少なからわかるけど…という方がほとんどでした。案の定、いつのまにか私も通訳になっていました「彩ちゃん、ちょっと！」…何回よばれたのか、数えきれません。英語と日本語の切り替えはまだゆっくりでしたが、とても勉強になりました。お互い相手の言っていることがわからないのに友達なのはとても素敵なことだとおもいます。私はまだまだ未熟で、少ししかお役にたてませんでしたが、Mackey と松浦の人との小さな懸け橋の一部分になれていたら、幸いです。

10.08.07 渡辺彩加
(一部略・以降順次掲載します。)